

VI
331

6-4
344

春山 210

四年制大学、短期大学別科申請校審査概評一覽(追加の付)

大学々術局 技術教育課

昭26.3.26

番号	名称	専攻科目及入学定員	修業年限	昼夜別	教員組織			施設	開設年次	備考
					教授	助教授	講師			
1	専修大学 商学部 計理別科	計理別科 晝 50 夜 50	1年	晝夜	1			専用普通教室3室74坪(甲)及3室87坪(甲)共用教室6室205坪	昭和25年	
2	大妻女子大学 家政別科	被服専攻1部150 2部100 食物専攻1部50	"	"		3		専用教室6室150坪実習室専用2室36坪共用5室124坪	"	被服専攻1部の定員150と100とする
3	国学院大学 文学部 別科	神道研修 70名	"	夜				専用教室3室83坪	昭和26年4月	神道研修部普通科と神道研修別科とする
4	国立音楽大学別科	作曲専攻、声楽専攻、音楽 専攻、鋼琴専攻、和声専攻	2年	晝	1		3	専用教室2室32坪 共用実習室6室55坪	"	
5	高野山大学別科	宗教教師の養成 30名	"	"	1	1		専用教室2室26坪	昭和25年4月	
6	大阪樟蔭女子 大学別科	被服別科、生活別科各50名	"	"	2	3	1	別科用教室6室156坪		学科相編成中、教育講座専任講座は適当でない
7	大阪外国語大学別科	中国語(100) 仏語(50) 英語(50) 外語(50) 英語(100) 仏語(50) 佛語(100) 仏語(50) ロシヤ語(50)	1年	夜	兼	担		教室15室292坪(別科用)	昭和26年4月	佛語定員100名と50名とする
8	福岡商科大学別科	商業主とする科目 1部50 2部50	"	晝夜				専用教室3室53坪	"	
9	東北女子短期 大学別科	被服別科 30	"	晝		1	1	専用教室1室14坪 被服研究室2室35坪	"	被服科と被服別科とする
10	東北学院短期 大学部別科	英語別科50 商業別科100	"	夜	兼	担		教室2室80坪(別科用)	"	英語科、商業科と英語別科、商業別科とする
11	東京家政学院 短期大学別科	家政別科 1部100 2部100	"	晝夜				専用教室2室70坪共用教室2室50坪 共用実習室2室50坪	"	
12	成城女子短期大学別科	被服別科 1部40 2部40	"	"				別科教室1室20坪実習室1室30坪 共用教室4室97.5坪実習室12室247坪	"	
13	和洋女子大学 短期大学部別科	家政別科 50名	"	晝		1		別科専用教室2室37坪共用2室49坪 74坪実習室6室177坪	"	
	花園大学別科	当初申請したか取下								
	東京教育大学別科	左のもの								
	愛知大学別科									
	大阪城東大学別科									

大学、短期大学別科審査報告書要領

別科審査会

種別	事項	審査概評
大学	<p>専修大学商学部計理別科</p> <p>人格の完成と会計計理の職業教育を施す。</p>	<p>差支乏有い</p>
校舎等	<p>別科用 考用</p> <p>教室 三室 三室 六室 同坪数 神田三三坪 神田七四坪 神田八七坪 二〇五坪</p>	<p>差支乏有い</p>
位置	<p>神奈川県川崎市生田町四七六六(生田校舎) 東京都千代田区神田保町三〇八(神田校舎)</p>	<p>差支乏有い</p>
目的	<p>計理別科</p> <p>第一 第二 計</p> <p>五〇 五〇 一〇〇</p>	<p>差支乏有い</p>
名	<p>別科を主とする教員</p> <p>助教 助教授 講師</p>	<p>差支乏有い</p>
種別	<p>概要</p> <p>修業年限 一ヶ年</p> <p>書(夜)の別 晝及夜</p>	<p>差支乏有い</p>
種別	<p>専攻部門</p> <p>学科目及</p> <p>公学生定員</p>	<p>差支乏有い</p>
種別	<p>従来状況及公将来の計画</p> <p>開設年月</p>	<p>昭和二十五年四月</p>
種別	<p>審査結論</p>	<p>可</p>
備考		

大学短期大学別科審査報告書要領

別科審査会

種別	名	目	位	建	専用 図書標本 機械器具	専攻部門 学科 学生定員	組織 要	履修方法	従来の状況 及び将来の 計画	開設年月	審査結論	備考
別科	大妻女子大学家政別科	女性に対し簡易な程度 の被服、食物に 関する特別な技能教育を 実施す	東京都千代田区三番町一 二番地	教 室 同 坪数 同 坪数 同 坪数	別科用 共用	被服専攻 一部 二部 食物専攻 五部 計 二〇〇 一〇〇 三〇〇 二五〇	別科を主とする教員 助教授 三 講師 六	修業年限 一年 晝夜別 晝及夜	昭和二十五年左開設	昭和二十五年四月	可	被服専攻の一部の定員を 一〇〇名とする事
審査	審査	審査	審査	審査	審査	被服専攻の一部の定員を 一〇〇名とする事	差支え有り	差支え有り	差支え有り			差支え有り

種別		名稱		目的		位置		建築物		専用品 圖書標本 機械器具		専攻部門 学科目及 公学生室員		教員組織 概要		教育方法		従来の状況 及び将来の 計画		開設年月	
大學短期大學別科審査報告書要領		國學院大學文學部別科		比較的短期間に神道宗教人の養成と併せて神道に關する研究調査を行う		東京都渋谷区若木町九		教室 坪數 三三 坪				(宗教人の養成)		別科を主とする教員 教授 助教授 講師 主任 なし		修業年限 一々年 晝夜の別 晝夜		昭和二十五年 夏開校		昭和二十五年 四月 日	
別科審査會		審査概評		差支之有				坪數 坪數 三三 坪				差支之有		差支之有		差支之有					
審査結論 可																					
備考 名稱を「國學院大學文學部神道研修別科」とすること																					

備考		年月	進捗状況及び 将来の計画	履修方法	概要	専攻部内 学科目及 学生定員	専用 圖書標本 機械器具	校舎等 建物	位置	目的	名称	種別
審査結果 可		昭和二十六年四月		修業年限 二年 昼夜別 晝	別科正主とする教員 助教一 助教授 講師三	別科三五名 作曲専攻五、戸樂専攻一、 器樂専攻一、調律専攻一、 リズム専攻一	専用ビル二	教室 同坪数 三二坪	東京都此多三郡各保村各保 八、八、四、五	教養としての音楽技能を簡易 な程度にわたって広く教育し併せて 一般課目をも詳しく情操豊かに 社会人の育成	国立音楽大学別科	専
								別科用 二室				

大学短期大学別科審査報告書要領

別科審査表

備考 可 審査結論		開設年月 昭和二十五年四月	従来の状況 及び将来の 計画	履修方法 修業年限 書夜の別 二年 晝	概 要 別科を主とする 教員 助教授 講師	二校部内 学科目及 び学生定員 別科 一学年 二学年 計 三名 三名 六名	専用 図書標本 機械器具	校舎等 教室 二室 同坪数 二六坪	位置 和歌山県牟婁郡高野町 大学高野山三八五	目的 主として佛教学、密教の知識を 授け特に実習を重んじ宗教を師 として必要の技能を授ける	名稱 高野山大学別科	種別 専 門	大学短期大学別科審査報告書要領 別科審査会
			審査 概 評	差支えなし	差支えなし	差支えなし	差支えなし	差支えなし	差支えなし				

大学短期大学別科審査報告書要領		別科審査会	
種別	事項	審査	概評
名稱	大阪樟蔭女子大学別科		
目的	簡易な程度に於て食物並に被服に於ける特別の技能教育を主とし併せて情操に富む女性高き家庭的な女性を養成することを目的とする	差支乏ない	
位置	大阪府布施市菱屋西二五八番地		
校舎等	教室	六室	差支乏ない
	同坪数	一五六坪	
建物	実験実習室		差支乏ない
	同坪数		
専用図書標本 機械器具	その他		差支乏ない
専攻部門 学科目及び 学生定員	被服別科 一年、二年 計 一〇〇 生活別科 五、五、一〇、一〇、一〇、一〇、二〇	学科目編成中、教養講座、専門講座とあるのは適当でない	
教員組織 概要	別科を主とする教員兼任 教授 二 助教授 三 講師 一	差支乏ない	
履修方法	修業年限 二、三年 晝夜の別 晝	差支乏ない	
従来の状況及び 将来の計画	昭和二十四年より開設し三、名(三年制) 昭和二十五年より一〇名(三年制)の入学定員にして今日に至る		
開設年月日	昭和二十四年四月		
審査結論 可			
備考 学科目編成中、教養講座、専門講座とあるのは適当でない			

種別		名稱	目的	位置	校舎等	専用 圖書標本 機械器具	専攻部内 学科目及 学生定員	教員組織 概要	教育方法	従来状況 及び将来の 計画	開設年月
大学短期大学別科	審査報告書要領	大阪外国語大学別科	外口関係の業務に従事する者が差し当り必要とする外口語に關する教養を願ひに授く	大阪市天王寺区上本町八丁目四六	教室 同坪数 五室 二九二坪		中口語 一〇〇 インド語 一〇〇 タイ語 一〇〇 英語 一〇〇 佛語 一〇〇 ロシア語 一〇〇 ドイツ語 一〇〇	別科を主とする。教員 助教 授 助教授 授 講師 師 兼担	修業年限 晝夜の別 一年 夜	昭和二十六年四月	
	別科審査会	審査概評	差支えなし		差支えなし		佛語定員一〇〇名を五〇名とする こと。	差支えなし	差支えなし		

審査結論
可
備考
フランス認定員一〇〇名と五〇名とする。

備考	調査結果 可	年月	従来の状況 及び将来の 計画	履修方法	概 要	教員組織	概 要	専攻部門 学科目及 員 の 学 生 定 員	専用 音標本 器具	校舎等		位置	目的	名称	種別
										建物	校舎等				
		昭和二十六年四月		修業年限 晝夜の別 晝夜	兼 担	別科と主とする 教授 助教授 講師	高業に関する科目 才一部 才二部 才三名 才四名		教 同 評 室 二部 二室 二部 二坪 二部 二坪 その他	専用 共用	福岡県福岡市大字七隈字前年四二二部 " " 大名町三三七 " " 三二部	短期間「高業及」経済に對する 実務的教育を授く	福岡高科大学別科	専 攻	大学短期大学別科審査報告書要領 別科審査会
				差支えなし		差支えなし							差支えなし		審査 概 評

種別		名称	目的	位置	校舎等 建物	専用 図書標本 器械器具	行政部内 学科目及び 学生定員	職員組織 概要	履修方法	従来の状況 及び将来の 計画	開設年月	審査結果
大学短期大学別科審査報告書要領		東北女子短期大学別科	被服科等に南する実際的専攻の技能を 研究履修せしめ、社会形成者としての有為 な女性を育成する。特に一般教養を深めると 共に、被服製作の技術修得を期すを使命とする。	青森県弘前市富田町字安原六三	教室 一室 同坪数 一四坪 実験実習室 二室 同坪数 二八坪 その他 三五坪	別科専用 共用	被服科 三〇名	別科を主とする教員 教授 専任 助教授 兼任 講師 兼任 講師 兼任	修業年限 一年 昼夜別 晝	昭和二十六年四月	可	
別科審査会		東北女子短期大学被服別科とすること	差支えなし		差支えなし		被服科を被服別科とすること。	差支えなし	差支えなし			
審査概要												
備考		名称を東北女子短期大学被服別科とする。										

種別	名稱	目的	位置	校舎等 建物	専用 圖書標本 機械器具	専攻科 科目及び学 生定員	教員組織 概要	履修方法	従来の状況 及び将来の 計画	開設年月
大学短期大学別科 審査報告書要領	東北学院大学短期大学部別科	主として勤労青年を対象にキリスト教主義に基く人格教育を基とし、英語科商業科共に夫々実務科目を主として午後授業を行ふ二年の定成教育を施す。	宮城県仙台市南六軒丁一	教室 同坪数 実験実習室 同坪数 その他	別科用 共用	英語科 50名 商業科 100名	別科と主とする教員 助教 5 助教授 2 講師 2 兼任	修業年限 一年 昼夜の別 夜	昭和二十六年四月一日	
別科審査会	審査 概評	差支えなし	差支えなし	差支えなし	差支えなし	英語科と英語別科 商業科と商業別科とすること	差支えなし	差支えなし		

審査結論
可
備考
英語科と英語別科、商業科と商業別科とすること

種別		名稱	目的	位置	校舎等	建物	専用 図書標本 機械器具	専攻部科 学科目及 生徒員	概 要 員組織	履修方法	従来 の 状況 及 将来 の 計画	開設年月
大学短期大学別科 審査書要領		東京家政学院短期大学被服別科	女子に對し家政実技に關する 専門教育を施す	東京都文京区三番町三十二番地	教室 二室 同坪数 七〇坪 実業実習室 同坪数 七〇坪 その他	別科用 共用	被服別科 一〇〇名 一〇〇名	被服別科 一〇〇名 一〇〇名	別科主任とする教員 教授二 助教五(一ノ部は兼担) 講師四	修業年限 一年 晝夜の別 晝夜	従来 の 状況 及 将来 の 計画	昭和二十六年四月
審査概評		差支えなし	差支えなし		差支えなし		差支えなし	差支えなし	差支えなし	差支えなし		

審査結果
可
備考

種別		名稱	目的	位置	校舎等 建築物	専用 圖書標本 模範器具	専攻部州 学科目及 学生定員	教員組織 概要	履修方法	将来の状況 及将来の計画	備考															
大学短期大学別科審査報告書要領		成安女子短期大学被服別科	<p>中二部が二部は高専教育を基礎として被服工作服飾を専門とする実務的専攻技能教育を施し一般教養を兼ねて有能な社会人を養成する</p>	京都市上京区烏丸通所出川北 東入相国寺十前町官有地	<table border="1"> <tr> <td>教室</td> <td>一室</td> <td>四室</td> </tr> <tr> <td>同坪教</td> <td>二〇坪</td> <td>九七五坪</td> </tr> <tr> <td>実験実習室</td> <td>一室</td> <td>一二室</td> </tr> <tr> <td>同坪教</td> <td>三〇坪</td> <td>三〇七坪</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	教室	一室	四室	同坪教	二〇坪	九七五坪	実験実習室	一室	一二室	同坪教	三〇坪	三〇七坪	その他				被服別科 中二部 四〇名	別科を主とする教員 助教授 二名 講師 三名 兼任 一名	修業年限 一ヶ年 晝夜別 晝及夜		審査結果 可
教室	一室	四室																								
同坪教	二〇坪	九七五坪																								
実験実習室	一室	一二室																								
同坪教	三〇坪	三〇七坪																								
その他																										
審査概評		差支えなし	差支えなし		差支えなし		差支えなし	差支えなし																		

備考		開設年月	従来ノ状況及 公將來ノ計画	修習方法	概 要	専攻部 学科目及 以學生定 員	専用 図書 機柙 器具	校舎等 物	位 置	目 的	名 称	種 別	大學短期大學別科審査報告書要願 別科審査會
審査結論 可		昭和二十六年四月		修業年限 晝夜ノ別 晝	別科主任 助教授 講師 教員	家政別科 五〇名		教室 同坪数 三九坪 同坪数 一七七坪	千葉县市川市口府台二	女子に對し被服を主とし 易な家政教育を施す	和洋女子大學短期大學家政別科	専	別科審査 概評
				晝 一年	一	五〇名		同坪数 三九坪 同坪数 一七七坪		女子に對し被服を主とし 易な家政教育を施す			
				差支之有 無	差支之有 無	差支之有 無		差支之有 無		差支之有 無			